

地域ネットワーク部会

平成24年2月6日

全体目標
がんにより死亡する人の減少
がんの年齢調整死亡率(75歳未満、人口10万人当たり)を平成29年度までに20%減少させる。

すべてのがん患者及びその家族の苦痛の軽減並びに療養生活の質の維持向上

【目標】 住んでいる地域にかかわらず県民が希望する医療を受けられる。
最終目標(6年後): 県民が希望する医療を受けられるよう、患者の意見を聞き、希望するすべての患者にパスを適用し、地元の施設に係る患者の増加、拠点病院の集中化解消を行う。
指標: パス患者適用率
測定方法: 拠点・支援病院のパス対象患者数・適用患者数の件数を合算、分析

部会が担当する分野の課題と目標
【アウトカム目標1】
医療者、行政などから医療機関の機能や役割が見え医療資源が適切に有効活用される。

【アウトカム目標2】
地元の施設にかかる患者の増加

【アウトカム目標3】
がん診療の質の向上

施策毎のアウトカム目標

【施策1】
がん診療を行っている医療機関には、診療機能に関する調査を行い、八重山・宮古・久米島・北部では患者調査を明らかにする。

【施策2】
拠点病院に難治がんや稀少がんの対応状況に関するアンケート調査を行う。

【施策3】
一般向けに、私的なカルテのチャリを作成しを広く広報する。

【施策4】
がん地域連携クリティカルパス研修会を開催する。

【施策5】
新たな疾患のパスの作成。

【施策6】
がん診療を行っている医療機関には、診療機能に関する調査を行い、八重山・宮古・久米島・北部では患者調査を明らかにする。

【施策7】
乳がん地域連携パスの運用、評価、改訂、各施設の運用強化を行う

【施策8】
肺がん地域連携パスの運用、評価、改訂、各施設の運用強化を行う

【施策9】
胃がん地域連携パスの運用、評価、改訂、各施設の運用強化を行う

【施策10】
大腸がん地域連携パスの運用、評価、改訂、各施設の運用強化を行う

【施策11】
前立腺がん地域連携パスの運用、評価、改訂、各施設の運用強化を行う

【対策項目1】
医療者、行政などすべてに対する情報不足の解消

【対策項目2】
地元医療施設での治療の促進

<地域ネットワーク部会:平成24年度経費内訳(案)>

1. がん診療を行っている医療機関には診療機能に関する調査を行い、八重山・宮古・久米島・北部では患者調査を行い実態を明らかにする。
2. 拠点病院に難治がんや稀少がんの対応状況に関するアンケート調査を行う。
3. 一般向けに、私のカルテのチラシを作成し広報する。

項目	送付件数		単価	支出予定金額	備考
送付代	106施設		220	23,320	回答はFAXにて返信

4. がん地域連携クリティカルパス研修会(年5回)

項目	研修場所		単価	支出予定金額	備考
会場借上費	研修先病院内	5回		0	
旅費	久米島病院内	1名	47,200 (1泊2日)	47,200	航空券32,400(那覇~久米島往復)日当4,400/宿泊10,400
旅費	県立宮古病院内	1名	44,800 (1泊2日)	44,800	航空券30,000(那覇~宮古往復)日当4,400/宿泊10,400
旅費	県立八重山病院内	1名	54,200 (1泊2日)	54,200	航空券39,400(那覇~石垣往復)日当4,400/宿泊10,400
講師謝金(学外者)	2時間	2名	30,000	60,000	
計				206,200	

5. 新たな疾患のパスの作成

- 6-①. 肺がん地域連携パスの運用、改訂、評価各施設の運用強化を行う
 - 6-②. 胃がん地域連携パスの運用、改訂、評価各施設の運用強化を行う
 - 6-③. 肝がん地域連携パスの運用、改訂、評価各施設の運用強化を行う
 - 6-④. 大腸がん地域連携パスの運用、改訂、評価各施設の運用強化を行う
 - 6-⑤. 乳がん地域連携パスの運用、改訂、評価各施設の運用強化を行う
 - 6-⑥. 前立腺がん地域連携パスの運用、改訂、評価各施設の運用強化を行う
7. 地域ネットワーク部会の活動を学会報告および実績を論文化する。

項目	研修場所	人数	単価	支出予定金額	備考
旅費	医療マネージメント学会	2名	106,200 (3泊4日)	212,400	航空券66,200 日当8,800/宿泊31,200
	第13回日本クリニカルパス学会 学術集会 12/7~8(岡山)	2名	88,600 (2泊3日)	177,200	航空券61,200 日当6,600/宿泊20,800
	谷水班(東京)	2名	88,400 (1泊2日)	176,800	航空券73,600 日当4,400/宿泊10,400
計				566,400	

※離島委員のワーキング参加時の旅費(年2回)

項目	ワーキング開催場所		単価	支出予定金額	備考
旅費(宮古の職員)	琉大病院	2回	44,800 (1泊2日)	89,600	航空券30,000(那覇~宮古往復)日当4,400/宿泊10,400
旅費(八重山の職員)	琉大病院	2回	54,200 (1泊2日)	108,400	航空券39,400(那覇~石垣往復)日当4,400/宿泊10,400
計				198,000	

合計 993,920

*日 当...1日当たり2,200円(国立大学法人琉球大学旅費支給規定参考)

*宿泊料...1夜当たり10,400円(国立大学法人琉球大学旅費支給規定参考)

*謝金(学外者)...1時間 15,000円(国立大学法人琉球大学諸謝金支給基準単価表参考)

<地域ネットワーク部会:平成24年度経費内訳(案)>

1. 琉球大学附属病院支出予定額(地域拠点病院) 合計 834,920

3. 一般向けに、私のカルテのチラシを作成し広報する。

項目	送付件数		単価	支出予定金額	備考
送付代	106施設		220	23,320	回答はFAXにて返信

4. がん地域連携クリティカルパス研修会(年2回)

項目	研修場所		単価	支出予定金額	備考
旅費	久米島病院内	1名	47,200 (1泊2日)	47,200	航空券32,400(那覇~久米島往復) 日当4,400/宿泊10,400
講師謝金(学外者)	久米島病院内(2時間)	1名	0	0	
計				47,200	

7. 地域ネットワーク部会の活動を学会報告および実績を論文化する。

項目	研修場所	人数	単価	支出予定金額	備考
旅費	医療マネジメント学会	2名	106,200 (3泊4日)	212,400	航空券66,200 日当8,800/宿泊31,200
	第11回日本クリニカルパス学会 学術集会 12/9~10(東京)	2名	88,600 (2泊3日)	177,200	航空券61,200 日当6,600/宿泊20,800
	谷水班(東京)	2名	88,400 (1泊2日)	176,800	航空券73,600 日当4,400/宿泊10,400
計				566,400	

※離島委員のワーキング参加時の旅費(年2回)

項目	ワーキング開催場所		単価	支出予定金額	備考
旅費(宮古の職員)	琉大病院	2回	44,800 (1泊2日)	89,600	航空券30,000(那覇~宮古往復) 日当4,400/宿泊10,400
旅費(八重山の職員)	琉大病院	2回	54,200 (1泊2日)	108,400	航空券39,400(那覇~石垣往復) 日当4,400/宿泊10,400
合計				198,000	

2. 県立宮古病院(支援病院) 合計 74,800

4. がん地域連携クリティカルパス研修会(年1回)

項目	研修場所		単価	支出予定金額	備考
旅費	県立宮古病院内	1名	44,800 (1泊2日)	44,800	航空券30,000(那覇~宮古往復) 日当4,400/宿泊10,400
講師謝金(学外者)	2時間	1名	30,000	30,000	
合計				74,800	

3. 県立八重山病院(支援病院)**合 計 84,200****4. がん地域連携クリティカルパス研修会(年1回)**

項 目	研修場所		単価	支出予定金額	備考
旅費	県立八重山病院内	1名	54,200 (1泊2日)	54,200	航空券39,400(那覇~石垣往復) 日当4,400/宿泊10,400
講師謝金(学外者)	2時間	1名	30,000	30,000	
合 計				84,200	

総 額 993,920

*日 当・・・1日当たり2,200円(国立大学法人琉球大学旅費支給規定参考)

*宿泊料・・・1夜当たり10,400円(国立大学法人琉球大学旅費支給規定参考)

*謝金(学外者)・・・1時間 15,000円(国立大学法人琉球大学諸謝金支給基準単価表参考)